

棚田を保全する 人材の確保

新潟県胎内市

「自然が生きる、人が輝く、交流のまち“胎内”」

地域概要

新潟県胎内市ってどんなところ？



チューリップフェスティバル
(約6万人/年)



胎内星まつり
(約2万人/年)



胎内高原ワイン



胎内スキー場



胎内市について

- 平成17年に旧中条町と旧黒川村が合併。
- 飯豊連峰を源とする「胎内川」が由来。
- 海と山に囲まれ、四季折々の自然が魅力。
- 東京駅 $\xleftrightarrow[新幹線]{100分}$ 新潟駅 $\xleftrightarrow[在来線(特急)]{30分}$ 中条駅

基本情報

- 人口 29,035人、高齢化率34.9% ※全国は28.4%
- 産業 工業団地に大企業が立地する製造業従事者が最多。次いで、卸・小売業、建設業、農業が同水準。
- 農業 就業者全体の約10%。稲作、畜産が主体。

P R

- 特産品 胎内高原ワイン、チューリップ、ベにはるか、米粉、地ビール など
- イベント チューリップフェスティバル（5月）
胎内星まつり（8月） など
- 観光 胎内スキー場、奥胎内ヒュッテ など

地域課題

棚田を保全する人材の確保



※胎内市のうち、旧黒川村地域
：特定農山村地域、特定豪雪地帯、指定棚田地域

テーマ：棚田を保全する人材の確保



1. 現状及び課題

後継者不足

「棚田」の 耕作条件不利性

➤ 維持管理の大変さ

・平地の整備された農地とは異なり、傾斜地にあり、狭小かつ不整形な農地が多い。

・大型の農機が入れないケースもあり、作業効率が著しく悪い。

➤ 安定しない米の収穫量

・傾斜地の日照条件や沢水による生育など自然環境に左右されやすく、米の収穫量が不安定。

高齢化の進行

➤ 高齢化率39.0%

・全国は28.4%。全国の将来推計で2065年に到達する水準。

➤ 基幹的農業従事者の高齢化率80.3%

・農業を主とする経営体のうち、5人中4人が65歳以上。全国は64.6%。

高付加価値農業の ノウハウ不足

➤ 潤沢な沢水を活かした稲作 地帯

・米余りにより米価が下落傾向にある中で、野菜の栽培、6次産業化、ブランド化など高付加価値化のノウハウが不足している。

・慢性的な鳥獣被害も野菜が普及しない一因。



担い手不足により、貴重な地域資源である棚田が将来は消滅してしまうかも…

課題詳細（２）

テーマ：棚田を保全する人材の確保

２．活用できる地域資源（一例）

◆ 食べ物

- **棚田からとれるお米** … お米日本一コンテスト2014で最高金賞を受賞！豪雪地帯特有の雪どけ水や傾斜地の寒暖差により、棚田でとれるお米はおいしいと評判です。
- **胎内高原ワイン** … 国産ワインコンクールで2013年、2014年連続金賞を受賞！
- **マコモダケ** … キノコではありません。イネ科で、田で栽培できます。食感はタケノコに似ており、食物繊維が豊富で低カロリーです。現在、地域主体で特産品化に取り組んでいます。



◆ 観光

- **棚田** … 都市農村交流の舞台となっており、美しい景観は観光の可能性を秘めています。
- **胎内リゾート** … ロイヤル胎内パークホテル、胎内スキー場、奥胎内ヒュッテ、胎内自然天文館などがワンパッケージで楽しめます。
- **季節ごとの見どころ** …



春：夏井河川敷千本桜 夏：胎内星まつり 秋：紅葉狩り 冬：スキー

課題詳細 (3)

テーマ：棚田を保全する人材の確保

3. 地域課題の解決方向性（イメージ）

（目的）

**農業後継者を確保し、
恒久的に棚田を保全していく
体制の構築**



（目標）

**農家所得を向上させ、
農業をより魅力ある職業に**



● 収益性の高い野菜の栽培、ブランド化、6次産業化の推進

（現在の取組 … 水田で栽培可能な野菜の試験栽培、棚田米のブランド化）

● スマート農業の推進による棚田管理のコストの低減

（現在の取組 … 地域ぐるみでの農薬散布用ドローンの導入検討）

● 農業と観光の連携促進

（現在の取組 … 観光施設での農産物販売）

など

※あくまで一例です。
皆様からの自由な
発想によるアイデア
を募集します。

（対策）

支援体制（1）

ヒト

◆ 新潟食料農業大学

2018年に開学。農業大学としては、東京農業大学以来93年ぶりの新設大学。

同年、胎内市・J A胎内市との包括連携協定を締結し、農業研究から地域振興まで幅広く連携しています。

◆ 地域おこし協力隊、地域住民

山間部で3人が活躍中。継続的に都市農村交流活動を実施している集落も多数あり、ワカモノやヨソモノに対してウエルカムな空気です。

◆ 市内福祉施設、シルバー人材センターなど

作業内容に応じて、市内事業者との仲介を支援します。

モノ・カネ

◆ 胎内市の補助事業

胎内市農業創意工夫応援事業（補助率3/10～5/10、上限50万円）、胎内市中小企業等支援事業（補助率1/2、上限10万円～）など。

◆ にいがた産業創造機構（NICO）の補助事業

起業チャレンジ、U・Iターン、ベンチャー企業創出など様々な事業があります（補助率1/2～2/3、上限200万円～）。

◆ その他国・県の補助事業

中山間地域対策、販路開拓、6次化、スタートアップ等で活用できる各種事業の活用について、計画策定から事業実施まで支援します。

情報

◆ 商工会、にいがた産業創造機構（NICO）

スタートアップ時の相談については、市だけではなく地元機関が手厚く支援します。

◆ J A胎内市、新潟食料農業大学

営農のプロであるJ Aや研究のプロである大学との連携を促進します。

現在、チューリップの生産に関する共同研究や、ベにはるかのブランド化「はるかなた」プロジェクトなどを共同で実施しています。



胎内市が仲介役となり、継続的にサポートします！

支援体制（2）

新潟食料農業大学との連携



農業研究に留まらず、地域の課題解決のため幅広い分野で**産学官連携**を推進します。